

INFORMATION *Circular*

THE JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

<http://www.bcasj.or.jp/jsdb>

インフォメーションサーキュラー休刊のお知らせ

| | |
|-------------------------------|----|
| ■ 事務局変更のお知らせ | 1 |
| ■ 第35回（2002年度）日本発生生物学会大会のお知らせ | 1 |
| ■ 第35回（2002年度）日本発生生物学会・宿泊のご案内 | 8 |
| ■ サーキュラー休刊について | 13 |
| ■ 日本学術会議報告 | 16 |
| ■ 研究助成金・各種募集案内 | 19 |
| ■ 研究集会・シンポジウム案内 | 20 |
| ■ 会員異動 | 27 |
| ■ 入会案内 | 30 |

NO.100

DECEMBER 2001

日本発生生物学会

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学大学院理学研究科生物学

会 長：〒 606 京都市左京区北白川追分町
-8520 京都大学大学院生命科学研究所
竹市雅俊 (Tel:075-753-4196)
(Fax:075-753-4197)
(e-mail:takeich @ take. biophys. kyoto-u. ac. jp)

DGD編集主幹：〒 153 東京都目黒区駒場3-8-1
-8902 京都大学大学院総合文化研究科生命系
浅島 誠 (Tel:03-5454-6632)
(Fax:03-5454-4330)
(e-mail:asashi @ bio. c. u-tokyo. ac. jp)

事務局：〒 980 仙台市青葉区荒巻字青葉
-8578 東北大学大学院理学研究科生物学教室
Tel:022-217-3489 Fax:022-217-3489
e-mail:jsdb@jcasj.or.jp
(幹事長) 井出宏之 (Tel:022-217-6691)
(庶務幹事) 田村宏治 (Tel:022-217-3489)
(会計幹事) 出口竜作 (Tel:022-214-3413)

学会センター：〒 113 東京都文京区本駒込5-16-9
-8622 財団法人 学会事務センター
日本発生物学会担当係 (Tel: 03-5814-5810)
e-mail:jsdb @ bcasj. or. jp

日本発生物学会への入退会、住所・所属変更、会費納入、および出版物（インフォメーション・サーキュラーなど）の郵送については、上記の日本学会事務センターに書面またはe-mailでお問い合わせ下さい。なおDGDにつきましては直接、ブラックウェルサイエンス社にお願いいたします (Fax:+61-39349-3016)。

事務局移転のお知らせ

平成14年1月1日（火曜日）から事務局が移転いたします。以降のご連絡は、下記までいただけますようお願いいたします。

・新事務局の

住所 東北大学加齢医学研究所分子神経研究分野

980-8575仙台市青葉区星陵町4-1

電話番号：022-717-8553

FAX番号：022-717-8554

メールアドレス（変更なし）：jsdb@bcasi.or.jp

（新幹事長）仲村春和

（新庶務幹事）舟橋淳一

（新会計幹事）渡邊裕二

日本発生生物学会第35回大会のお知らせ

日本発生生物学会第35回大会準備委員会

委員長 八杉貞雄

第35回大会は、2002年5月21日から23日の3日間、横浜市のパシフィコ横浜において開催されます。今回の大会は、第55回日本細胞生物学会との合同大会で、参加者は両学会のシンポジウム、ワークショップ、一般発表に自由に参加できます。皆様のご参加を心からお待ちしております。

1. 期日：2002年5月21日（火）～23日（木）

2. 会場：パシフィコ横浜（発表、シンポジウム等）

国立大ホールマリンロビー（懇親会）

3. 参加登録申込み方法：

- ・大会参加申込みは振替用紙による申込みのみとします。発表をされない方（連名の発表もない方）は、振替用紙による申込みのみ必要です。
- ・大会参加費は前納（締切日2002年2月28日）の場合は同封の振替用紙をご使用の上、一般会員7,000円、学生・院生4,000円をお支払い下さい。なお、3月1日以後は当日受付と同額の、一般会員8,500円、学生・院生5,000円となりますので、ご注意下さい。なお、非会員の参加費は一律に一般8,500円、学生・院生5,000円です。

郵便振替口座：0110-3-47232 日本発生生物学会第35回大会準備委員会

- ・懇親会は大会2日目の5月22日（水）に行います。参加をご希望の方は、参加費と同様に振替用紙をご使用の上、一般8,000円、学生・院生5,000円をお支払い下さい。場合によっては当日の受付ができないこともありますので、できるだけ2月28日までにお申込み下さい。

4. 研究発表申込方法：

- ・発表を希望される方は、ホームページによる方法、もしくはメールによる方法で申込んで下さい（後述の申込み方法をよくお読み下さい）。
- ・申込期限は、ホームページ（Web）からの申込みは2002年2月28日（木）14時、メールによる申込みは2月21日（木）です。
- ・研究発表は日本発生生物学会会員で、2002年度までの会費納入者に限ります。現在学会会員でない方で発表を希望される方は、学会への入会手続き（入会金納入を含む）を行ってから、申込みをして下さい。
- ・発表形式は、ポスター発表のみです。ポスターのパネルは横120 cm、縦210 cmの予定です。形式は特に定めませんが、上部にタイトル・発表者名・所属を掲示して下さい。押しピン等は準備委員会で用意します。ポスターは毎日一日中掲示し、午前中に説明の時間を設ける予定です。
- ・ポスター発表に際して、コンピューターを使用した説明も可能です。電源や台に限りがあるので、希望者は申込み時にそのむね明記して下さい。
- ・発表は1人1演題に限ります。

- ・ホームページ (Web) やメールではどうしても申込みない方は、下記の大会準備委員会 (都立大) までご連絡下さい。

5. シンポジウム, ワークショップ等

本大会では、細胞生物学会との合同大会ということもあり、シンポジウム, ワークショップについてはすでに公募を終了しています。現在予定されているシンポジウム, ワークショップは以下のとおりです (順不動, かつこ内は責任者)。

準備委員会合同シンポジウム

細胞骨格のダイナミズムに支配される形態形成 (貝淵弘三, 高橋淑子)

Morphogenetic regulation of cell adhesion and movements by E-cadherin dynamics (永淵昭良, 楠見明弘)

非対称な細胞分裂と運命決定 (松崎文雄)

発生生物学と細胞生物学の接点: 発生における細胞増殖制御 (竹内隆, 岸本健雄)

発生生物学会シンポジウム

発生研究のためのEST発現データベース構築 (漆原秀子, 真壁和裕)

生殖細胞発生の分子機構 (中辻憲夫, 松居靖久, 野瀬俊明)

メダカ生物学の新展開 (工藤明)

発生における自発的パターン形成現象 (近藤滋)

発生における左右非対称形成の遺伝的メカニズム (黒田行昭)

動物の変態現象の仕組み (矢尾板芳郎)

細胞生物学会シンポジウム・ワークショップ

ポストゴルジ・ネットワーク (大野博司, 吉森保)

クロマチン編成・再編成の生物機能 (太田邦史, 土屋英子)

微小管形成中心の生物多様性と多機能性 (堀尾哲也, 峰雪芳宣)

生体における細胞運動の分子的基礎 (竹縄忠臣, 遠藤剛)

タンパク質の品質管理とその破綻 (河野憲二, 永田和宏)

核-細胞質間輸送の分子機構と生命機能 (大野睦人, 米田悦啓)

細胞外マトリックス系による細胞増殖と機能の制御 (妹尾春樹, 畑隆一郎)

プロテインキネシス-オルガネラの形成と制御 (藤木幸夫, 三原勝芳)

細胞内情報伝達機構のライブイメージング (斎藤尚亮)

6. 特定研究領域「発生システム」による教育講演会

特定領域研究「発生システム」(領域代表 基礎生物学研究所 上野直人)では、発生生物学会大会時(5月21日)に一般教育講演会「いのち・かたち」を開催します。演者は、”Developmental Biology”の著者S. F. Gilbert博士と、昆虫写真家 海野和男氏の予定です。

7. ランチョンセミナー

今回の大会では昼に企業によるランチョンセミナーを開催します。詳細についてはプログラムをご覧ください。

8. 要旨集について

要旨集には発生生物学会のプログラム、要旨の他、細胞生物学会のプログラムも掲載します。また、両学会とも要旨をそれぞれの学会のホームページ上で公開します。

9. 総会と懇親会

- ・総会：大会2日目(5月22日)の16:30分から約45分の予定です。
- ・懇親会：大会2日目(5月22日)の18:30から国立大ホールマリンロビーで行います。参加費は前掲。

10. 保育室開設のお知らせ

今回初めての試みとして、大会会期中、保育室を設けます。ベビーシッターによる託児(有料)、もしくは保護者同伴の休憩室(無料)としてもお気軽にご利用下さい。シッター手配の都合上、現時点で少しでも利用の可能性を考えておられる方は、12月末日までに保育委員(下記)にご連絡下さい。

対象： 0才～小学生(大会参加者なら利用可能です)

期日： 2002年5月21日(火)～5月23日(木)

場所： パシフィコ横浜(大会会場内)

ベビーシッター： (社)全国ベビーシッター協会加盟会社に依頼予定

シッター利用料：大会準備委員会からの援助のもと、1時間当たり、0～3歳児は500円以下、4歳児以上は300円以下を予定しています。

問い合わせ・申込先 瀧口-林恵子 hayashi@libra.ls.m-kagaku.co.jp

11. 大会期間中の宿泊等の案内：

準備委員会では宿泊等のお世話はしません。同封の「宿泊のご案内」をご利用下さい。

12. 大会全般に関する問い合わせ・連絡先

〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学大学院理学研究科生物科学専攻（略称：都立大・院理・生物）

日本発牛生物学会第35回大会準備委員会（八杉貞雄，西駕秀俊，福田公子）

電話：0426-77-2572, 0426-77-2573

ファックス：0426-77-2559

E-mail: jsdb@comp.metro-u.ac.jp

研究発表申込方法

■要旨の制限文字数について

発表要旨の制限文字数は、全角で800字（半角1,600字）ですのであらかじめ、ワープロソフト等で要旨や、演題名、発表者名、発表者所属などを作っておき、そこからコピー&ペーストでWebのフォームに入力されることをお勧めいたします。

■Webによる申込

Webによる申込みは、メールによる申込みよりも締切りが1週間遅くなります。また、締切日（2月28日）以前なら修正が可能です。Webでの申込みは、<http://www.bcasj.or.jp/jsdb/>を入力して日本発牛生物学会のホームページを立ち上げ、リンクされている大会のホームページに移動し、さらに「発表申込」ページの指示に従って入力して下さい（詳しい案内は2月初旬より大会のホームページにてご案内する予定ですので、そちらでご確認下さい）。

1) Webによる申込みに関する注意事項

①申込に必要なもの

- ・インターネットに接続可能なコンピュータ
- ・普段お使いのE-mailアドレス

・会員番号（サーキュラーの送られてきた封筒の宛名ラベルに明記されています）

・ブラウザ（インターネット閲覧ソフト）

※日本語版のもので、Internet Explorer4.5以上、またはNetscape 4.75

以上のバージョンのものをできるだけお使い下さい。

②演題申込締切

2002年2月28日（木）14:00まで

締切日以降の新規登録および修正は一切受付ることができませんのでご注意ください。

2) 入力に関する注意事項

- (1) 発表の申込みと内容の閲覧および修正には、ログイン名（発表申込者用ID）とパスワードが必要です。申込みにあたっては、まず申込者の登録（ログイン名の登録とパスワードの設定）をして下さい。
- (2) 1台のコンピュータより、続けて複数の発表申込みや修正をする場合は、1演題の申込や修正をするたびに、ブラウザを終了させ、再度ブラウザを立ち上げて次の申込みや修正をして下さい。これは、ブラウザのキャッシュ機能（一度閲覧したホームページを各コンピュータのハードディスクの中に保存することにより次回の表示を早くする）が働き、意図どおりに修正できない場合があるためです。
- (3) 演題申込者の登録をする時に登録ボタンは1回だけ押して下さい（2回押しますと、エラーの原因となります）。
- (4) 演題申込者の登録をすると、登録したログイン名とパスワードがE-mailで自動的に送信されますのでご確認下さい。届かない場合は、登録時のE-mailアドレスが間違っていることが考えられますので、再度ログインして正しいアドレスに修正して下さい。
- (5) コンピュータの作動中（Windowsでは砂時計、Macintoshでは時計が表示）には、入力やブラウザ上の操作をしないで下さい（データが正しく送受信されない場合があります）。
- (6) 締切日の直前は、インターネット回線が混雑しがちです。混雑しますと、データの送受信およびログイン等に時間がかかりますので、できるだけ余裕を

もってお申込み下さい（本大会のWebは、十分な回線を用意しておりますので繋がらないわけではありません）。

■メールによる研究発表要旨投稿

メールによる申込は、Webによる申込よりも締切りが1週間早くなります（2月21日）。また、一度お送りいただいた申込みの訂正はできませんのでご注意ください（詳しい案内は、2月初旬より大会ホームページにてご案内予定ですので、そちらでご確認下さい）。

送信先アドレス：jsdb2002@bcasj.or.jp

●メールでの申込みに関する注意事項

- ① メールを送信される場合は、HTML形式ではなく、テキスト形式で送信して下さい。
- ② メールには、添付ファイルをつけないで下さい。

メール本文に下記の内容を漏れなくお書き下さい。

発表者名（掲載順に）・それぞれの所属・会員番号・および連絡者氏名・E-mailアドレス・郵便番号・住所・電話番号・FAX番号・演題名・要旨（全角800字、半角1600字以内）

研究発表申込みについての問い合わせ先：

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 1 4 階

学会センター関西内

日本発生生物学会第35回大会準備委員会

電話：06-6873-2301 ファックス：06-6873-2300

E-mail：o-conf@bcasj.or.jp

第35回日本発生生物学会 第55回日本細胞生物学会大会合同開催 《宿泊のご案内》

平成14年5月21日～5月23日に、パシフィコ横浜にて「第35回日本発生生物学会大会」が開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

このたび、学会に参加される皆様の便宜をお図りするため、宿泊等に関しまして、(株)日本旅行がお手伝いさせて頂くことになりました。

皆様のご希望に添うよう、十分に配慮いたす所存でございます。是非、お誘いあわせのうえ、多数の皆様がご利用くださいますようご案内申し上げます。

株式会社日本旅行 神田支店
支店長 三 間 幸 二

1. お申込方法

- ① 「ご宿泊申込書」にご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
- ② 宿泊予約の終了後、「ご宿泊予約確認書」並びに「請求書」を郵送いたします。
- ③ 宿泊当日は、「ご宿泊予約確認書」をホテルのフロントに提示してご宿泊ください。
- ④ お申込みの皆様には、通信事務管理費として別途、おひとり様500円を申し受けます。

※宿泊案内のホームページでインターネットの受付もしております。

アドレス：www3.nta.co.jp/convention/hasseise_0.htm

2. お申込締切日

平成14年4月22日（月）

*締切後も引き続きお申し込みはお受けいたしますが、ホテルを絞らせて頂きますので、ご希望に添えない場合もございます。

3. お支払い方法

① 銀行振込

- ・請求書が到着次第、下記口座にお振り込みください。
- ・振込人氏名の前にお申込み番号をご記入ください。

- ・振込手数料は、各自ご負担をお願いします。

：三井住友銀行 神田駅前支店

(普通) 1409025

口座名義：(株)日本旅行神田支店

② クレジットカード

- ・請求書発送後、1週間以降にお買いあげの処理をさせていただきます。
- ・カード決済ご希望の方は、申込書の所定欄に必要事項をご記入願います。

4. 変更・取消について

- ①変更・取消はお早めに、FAX等の書面にてご連絡ください。
- ②お申し込み後の取り消しにつきましては、1泊目の宿泊料に対して別表の取消料を申し受けますので、予めご了承ください。
- ③変更・取消による返金のご精算は、遅くとも学会終了後1ヶ月以内に行います。予めご承知おきください。

| お取り消し日 | 15日前以前 | 14～8日前 | 7～2日前 | 前日 | 当日・無連絡不泊 |
|--------|--------|--------|-------|-----|----------|
| | 無料 | 10% | 20% | 50% | 100% |

5. 施設のご案内

- ①宿泊設定期間：平成14年5月20日(月)～5月22日(水) 3泊
*前後の宿泊ご希望もお受けします。お申込み書にその旨ご記入ください。
- ②宿泊代金：1泊朝食付き、サービス料・税金込みのお一人様の料金(ツインは、ツインルームをお二人で利用する場合のおひとり分)です。

【ホテルの一覧】

| ホテル名 | 申込略号 | 部屋タイプ | 朝食なし | 朝食付き | 最寄り駅 (会場からのアクセス) |
|---------------------------------|------------|-------|---------|---------|--|
| ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル | コンチ | S | 設定なし | 21,000円 | 桜木町駅より徒歩10分 (会場隣接) |
| | | T | 設定なし | 12,600円 | |
| 桜木町 ワシントン ホテル | 桜木町 | S | 10,500円 | 11,000円 | 桜木町駅目の前 (会場より徒歩10分) |
| ブリーズベイホテル | ブリーズ ベイ | S | 9,450円 | 10,500円 | 桜木町駅より徒歩2分 (会場より徒歩12分) |
| | | T | 8,400円 | 9,450円 | |
| スターホテル横浜 | スター | S | 9,450円 | 10,500円 | 石川町駅より徒歩10分 (会場より車10分、桜木町 駅よりバス利用で約20分) |
| 横浜伊勢佐木町 ワシントンホテル | 伊勢 佐木町 | S | 9,450円 | 10,500円 | 伊勢佐木長者町駅3番出口 徒歩1分(桜木町駅から地下 鉄利用で所要時間約15分) |
| ホテルコスモ横浜 | コスモ | S | 8,600円 | 10,000円 | 横浜駅西口徒歩7分(桜木町 駅～横浜駅間JR又は私鉄 利用で所要時間約25分) |
| ナビオス 横浜 | ナビオス | S | 8,400円 | 9,500円 | 桜木町駅より徒歩8分 (会場より徒歩7分) |
| | | T | 7,900円 | 8,900円 | |
| 横浜マンダリンホテル | マダリン | S | 8,400円 | 設定なし | 桜木町駅より徒歩6分 (会場より徒歩20分) |
| | | T | 7,900円 | 設定なし | |
| 三愛 横浜 ホテル | 三愛 | S | 7,900円 | 8,900円 | 桜木町駅より徒歩6分 (会場より徒歩20分) |
| | | T | 6,900円 | 7,900円 | |

※S=シングル、T=ツイン

※ご宿泊1名につき事務連絡管理費(手配料、通信費、郵送料)として500円別途申し
受けます

6. お申込み・お問合せ先

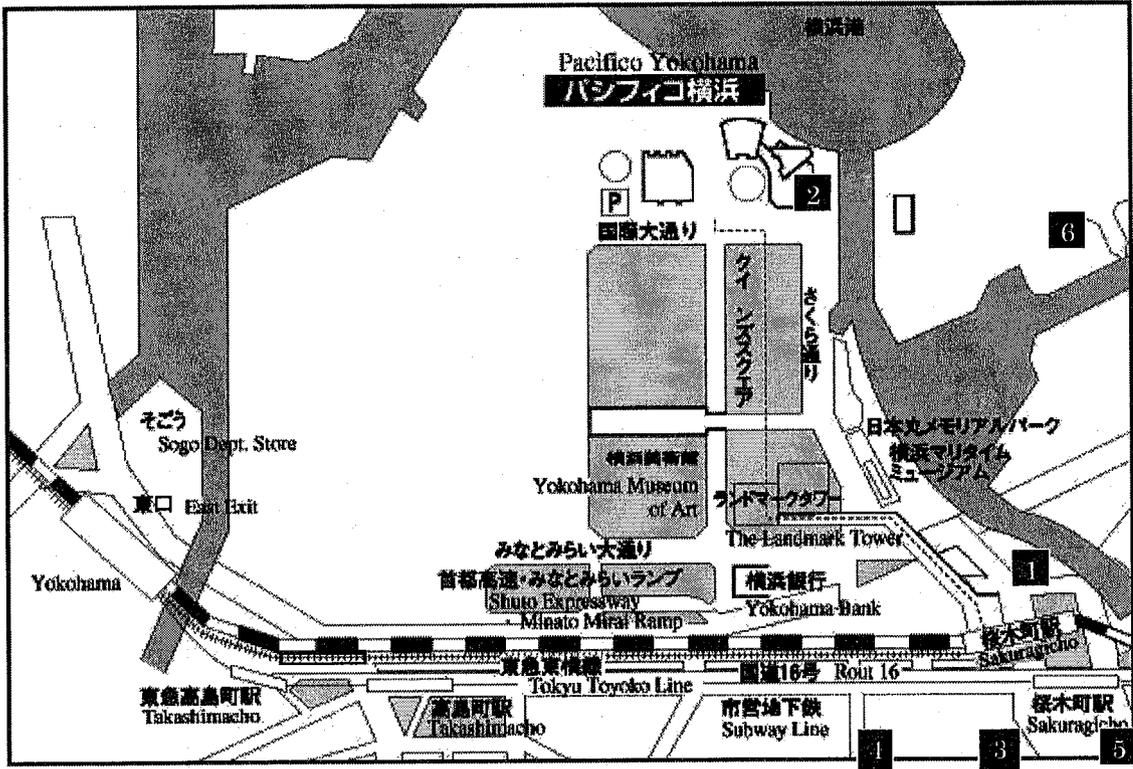
(株)日本旅行 MCSセンター 日本発生物学会デスク

〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル9階

TEL 03-3581-2751

FAX 03-3581-2875

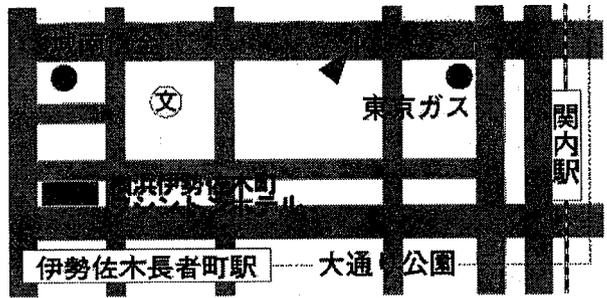
営業時間 平日 9:30~17:30 (土・日・祝日は休業)



- (10分) → ① 桜木町ワシントンホテル → (1分)
 (隣接) → ② インターコンチネンタルホテル → (15分)
 → ③ マンダリンホテル → (6分)
 → ④ 三愛ヨコハマホテル → (6分)
 → ⑤ ブリーズベイホテル → (2分)
 → ⑥ ナビオス横浜 → (8分)

会場(徒歩)

桜木町駅(徒歩)



⑨ 伊勢佐木町ワシントンホテル → (1分)

伊勢佐木町駅 (徒歩)

《地図外》

- ⑦ ホテルコスモ横浜 — (7分) → 横浜駅
 ⑧ スターホテル横浜 — (10分) → 石川町

【鉄道路線略図】



サーキュラーのWeb化について (事務局ならびにホームページ委員会より)

前回のサーキュラーでご連絡いたしましたとおり、事務局ではサーキュラーのWeb化を提案させていただいております。会員の皆様のご意見をいただくためにアンケートをお願いしましたが、その結果がまとまりましたのでまずはご報告いたします。

アンケート集計に関して、

返信（回答）数 149件 のうち 賛成（意見付を含む） 135（+13） = 148件
反対 1件

賛成のうち意見付として述べられた意見は、以下のとおりです。（13名）

- ・アンケートを募るときや決を採りたいときの方法を検討する必要がある。
- ・全体を早く見るためには印刷物の方が労力が少ないので、印刷物配布を希望する会員への郵送は続けて欲しい。
- ・Web化後も、掲載内容を残しておくことは重要。
- ・この提案では、事務局の労力の軽減にはならないのではないか。
- ・ホームページ上で記載される情報はPDFファイルなどで容易にダウンロードできる形式にして欲しい。会員が自分のパソコンなどに保存できるのが望ましい。
- ・ニュースがWeb化されると購読のされ方は著しく低下する懸念がある。重要なものは繰り返し注意を促さないと役に立たなくなる。
- ・学会の記録としての冊子体はぜひとも必要と考える。Webのニュースは誰かが必ず保存するという保証がなく、特にメディアやコンピューターの変遷によって、昔の記事が読めなくなるという恐れがたぶんにある。少なくとも何らかのかたちで冊子を作成して保存する必要がある。
- ・Emailアドレスが変更になっても通知しない会員が多いと、事務局にとって相当なストレスになりそうな気がする。
- ・学術団体の刊行物・出版物は公的な意味合いを持つ。したがって更新されたホームページの内容は記録として恒久的に保存されるべき。年に一度、または名簿改正時などにあわせてCD-ROM化し、保存と会員への配布を行うべきではないか。
- ・発生学会はHPを運営しているもののほとんどupdateされておらず、有名無実化しつつあるように思われる。Webに関してはスピードが命。HPが充実することを期待す

る。

- ・大変だろうが、月一回のe-mailは是非やった方がいい。更新がなくてもURL一行だけでも連絡をするのがよいと思う。
- ・e-mailのsubject欄を決まった文字（例えば[JSDB_Circular]）で始め、メールのフィルタ機能を使ってファイリングできるようにする。この文字はたとえサーキュラーの担当者が変わっても変えない。

反対者の意見として述べられた意見は以下のとおりです。（1名）

- ・画面では情報全体の内容が読み取れない。
- ・目が悪いので読みづらい。
- ・印刷に時間がかかる。
- ・すべてにおいてパーソナルな仕事が増えてしまう。
- ・仕事場以外のところで使えない。

これらのアンケート結果を元にホームページ委員会において議論を行い、さらに事務局内での具体的な動き方をまとめ、竹市会長ならびに運営委員と議論をつめました結果、アンケートの結果からサーキュラーのWeb化は基本的に会員の同意を得られていると判断し、サーキュラーの休止とWeb化を行うことを決定いたしました。ただし、寄せられた意見を十分に考慮し、特に以下の項目をWeb化の具体的なやり方として盛り込むとともに、今後の課題としても検討していくことにいたします。

（今後の進め方）

1. 月に一度、e-mailで会員にホームページ更新内容を知らせる。更新がない場合にも、ないことを連絡する。外国にいて日本語のメールが受け取れない人のことを考慮し、日本語のメールが受け取れない会員にはあらかじめその旨を連絡しておいてもらい、それらの会員については学会事務センターから更新内容メールをFAXで送ってもらう。
2. 要望の中にも強く主張されていたように、更新内容は、ファイルあるいはCD-ROMとして保存する以外に、印刷してファイリングしておく。

3. 印刷物を希望する会員はあらかじめその旨を学会事務センターに連絡（登録）してもらい、それらの会員については、年に3回、更新内容をまとめて、印刷物を送付する。これは、学会事務センターに2でファイルしたものを送付してもらう。
4. 学会大会（年会）案内を考えておかないといけない。ダイレクトメールで会員に送る。このことに関しては、1年に一度、大会案内を印刷物で会員に送る必要性があるとも考えられ、2003年の大会以降に関しては検討事項とする。
5. 次回の会員名簿作成時に、e-mailアドレスを名簿に載せるかどうかを会員に選択してもらう。
6. 常時、正しいe-mailアドレスを登録してもらうように、会員に促す。これはメールで行うだけでなく、配布物がある場合などは必ずお願いするようにする。
7. ホームページの充実。すでにホームページ委員会がいくつか改善を施してくれているが、より見やすいホームページの作成に努力する。ただし、素人が行うのには限界があるので、作成およびホームページ維持の委託も含めて今後の課題とする。
8. 入会申し込みの手続きの方法を改善していく。

<会員の皆様にお願ひ>

以上のことを踏まえまして、会員の皆様にお願ひがござひます。

1. ホームページの更新連絡をFAXで知らせることを希望される会員の方は、学会事務センター（下記）まで、書面またはFAXで連絡し登録してください。
2. 更新内容の印刷物を希望する会員の方は、同様に学会事務センター（下記）まで、書面またはFAXで連絡し登録してください。
3. 正しいメールアドレスが登録されていない会員の方は、是非、この機会に新しいメールアドレスを登録してください。e-mail、あるいは書面またはFAXで学会事務

センター（下記）までご連絡ください。現在登録されている（はずの）メールアドレスは、会員名簿に記されていますので、ご参照ください。正しいメールアドレスが登録されませんと、更新連絡を受けることができません。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

4. 不明な点などございましたら、事務局までご連絡ください。なお、2002年1月から事務局が変わりますのでご注意ください。

（学会事務センター連絡先）

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

財団法人 学会事務センター 日本発生生物学会担当係

電話：03-5814-5801

FAX：03-5814-5820

e-mail：jsdb@bcasj.or.jp

以上、よろしくお願いいたします。（事務局、庶務幹事：田村宏治）

日本学術会議報告

動物科学研究連絡委員会委員長 星 元 紀

さる3月24日に第18期第1回の報告をお送りしましたが、その後の学術会議の動向につき、動物科学研究連絡委員会に関わるものを中心にご報告いたします。学術会議全体の活動については、雑誌「学術の動向」（月刊、日本学術協力財団発行）に逐一掲載されていますのでご参照いただければ幸いです。また、日本学術会議HP (<http://www.scj.go.jp/>) には、沿革、組織、公表資料（勧告・声明・報告・会長談話等）、共同主催国際会議の案内、各種募集、講演会等の日程等が表示されておりますので、あわせてご参照いただければと存じます。なお、2002年1月号より適用される「学術の動向」の新編集方針によりますと、学術の広場（2,000字）、オアシス（1,200字）、編集委員会への手紙（300字）は読者からの投稿によるそうですので、奮ってご参加ください。

1. 3月26日(月)開催の運営審議会において、動物科学研究連絡委員会報告「国立大学臨海実験所等の再編に関する提言」が認められ公表された。

2. 第135回総会(第18期第3回)・部会・連合部会等が4月24日~27日に開催され、「21世紀における人文・社会科学の役割とその重要性-科学技術の新しいとらえ方、そして新しい社会・文化システムを目指して--(声明)」が採択された。また、国際問題に関するインターアカデミーパネルへの加入、国際北極科学委員会への加入、日本学術会議の部会等の公開に伴う関係規則の一部改正、運営審議会附置委員会の設置4件(日本の計画委員会、新しい学術体系委員会、日本学術会議の在り方に関する委員会、第18期評価委員会)、農業・森林の多面的機能に関する特別委員会(農林水産大臣からの諮問に対応するため)の設置が承認された。

3. 第18期第3回動物科学研究連絡委員会(一部は植物科学研究連絡委員会との合同会議)が、6月7日(木)に開催され、国立大学等施設緊急整備5ヶ年計画、動物飼育施設のあり方、生物学及び理学の教育、科学研究費等について討論した。なお、動物飼育施設のあり方については毛利委員を中心に検討していくこととした。

合同会議においては、ガイアリスト21計画、研連の再編、博物館学芸員、基生研の大型スペクトログラフの更新、合同研連のあり方などについて討論した。研連の再編については、両研連合同ワーキンググループを立ち上げて、生物系大研連の編成も視野に入れながら、動物科学・植物科学両研連の合併を具体的に検討すること、博物館問題に関しては動物科学研連のワーキンググループを拡張し、両研連の合同WGとすること、基生研の大型スペクトログラフ更新計画については、これを両研連で全面的に支援すること、学術会議主催講演会等を企画するために両研連の合同WGを組織することが承認された。また、日本化学会の伊藤 卓・横浜国大教授を招いてJABEEについて解説していただいた。

なお、合同WGの委員は以下の通り後日両委員長によって指名された。

研連の再編：漆原秀子、道端 齊

広瀬忠樹、福田裕穂

博物館：遠藤秀紀、片倉晴雄、塚越 哲

出口博則、邑田 仁、鷺谷いづみ

SCJ主催講演会：白山義久

西村幹夫

(上段：動物科学研連 下段：植物科学研連)

4. 第4部会(夏部会)が7月12日に琉球大学で開催され、日本学術会議の在り方、日本の計画委員会で検討している日本の計画(JAPAN PERSPECTIVE)の構成案、科研費の分科細目見直し作業、第4部世話担当研連の見直しなどにつき検討した。また、日本学術会議会員推薦管理委員会委員として、田丸謙二、伊達宗行、平本幸男、榎根 勇の4氏を推薦することとした。翌13日は「日本学術会議の紹介」(大瀧仁志部長)、「21世紀とIT社会—頑張れ日本、負けるな日本」(土居範久副部長)、「海洋天然物について」(比嘉辰雄琉球大学理学部教授)の3題からなる講演会とし、琉球大学との交歓を行った。

5. 第136回総会(第18期第4回)・連合部会・部会等が10月16日~18日に開催され、「データベースに関して提案されている独自の権利(sui generis right)について」(声明)が採択され、農林水産大臣への答申「地球環境・人間生活に関わる農業及び森林の多面的な機能の評価について」が承認された。また、財政的に破綻をきたした国際情報ドキュメンテーション連盟(FID)からの脱退が決定された。日本の計画(JAPAN PERSPECTIVE)のドラフト、日本学術会議の在り方、及び自己評価等につき討論した。

6. 第18期第4回動物科学研究連絡委員会が、12月6日に開催された。まず植物科学研究連絡委員会との合同会議を行い、学術会議をめぐる内外の動きについて岩槻植物科学研究連絡委員長が報告の後、情報交換を行った。次いで審議に入り、前回(上記3参照)決定した両研連合同ワーキンググループにおける作業の進め方を中心に検討し、研連の再編については福田植物科学研連委員、博物館については遠藤動物科学研連委員、講演会の企画等については西村植物科学研連委員が各WGの世話役となり、それぞれ原案をまとめることとした。ついで、いわゆる「遠山プラン」について意見交換するとともに、基礎生物学をいかにして充実してゆくかを中心にして、基礎科学の充実、国立共同利用研究所等が抱えている困難等につき討論した。動物科学研連のみによる委員会では、動物科学研連の活動をどのように行っていくか討論した。また、毛利委員より動物飼育施設を巡る最近の動きについての報告があったが、この問題については毛利委員を世話役とするWGで引き続き検討し、本研連の対応について原案を作成することとした。

7. その他

4月5日に動物科学研究連絡委員会博物館高度化研究会(第一回)が行われ、博物館が抱える問題等につきヒアリングを行った。

学術体制常置委員会の呼びかけにより、9月20日に科研費分科細目の見直しに関する意

見交換会が開催された。

国際協力常置委員会ICSU分科会の呼びかけにより、ICSU国際科学会議（The international Council for Science）傘下ユニオンの日本人役員が初めて集まり、ICSUに関する意見交換を行った。

山田科学振興財団 2002年度研究助成候補の募集

援助の趣旨および内容

1. 本財団は、自然科学の基礎的研究に対して研究費の援助をいたします。実用指向研究は援助の対象としません。
2. 援助額は1件当たり100～500万円、総額4,000万円、援助総件数は10件程度ですが、学会からの推薦および本財団関係者からの個人推薦の中から選考いたします。
3. 援助金を給与に充てることは出来ませんが、特に財団が指定した場合を除き、他の用途は自由です。
4. 援助金の使用期間は、贈呈した年度及びその次の年度の計2年間とします。

応募方法

1. 所定の推薦用紙またはその写しに必要事項を記入したもの 4部
2. 添付書類（研学（'02）-5/8ページ参照）

推薦書および添付書類5部（財団にはうち4部を送ります）を日本発生物学会事務局にお送りください。推薦用紙は事務局に御請求ください。（2002年1月から事務局が変更されますので御注意ください。）

募集件数 2件以内

応募締め切り日 2002年2月末日（財団締め切りの1ヶ月前）

選考方法 選考委員会において選考の上、理事会で決定します。

選考結果の通知 2000年7月末迄に学会及び研究代表者宛て文書にて通知します。

奨助金の贈呈 選考結果の通知後適時銀行振り込みにて贈呈します。

研究成果及び会計の報告

奨助金の受領者には、後日当財団の連絡に基づき、研究経過、研究成果、会計について報告書の提出及び研究交歓会での発表をしていただきます。

付 記

- イ. 奨助金の用途を変更する場合には、予め本財団の承諾を得てください。
- ロ. 研究成果を文書によって発表される際は、本財団の奨助による旨を記載し、報文の類にあつてはその別刷1部、また著書の類にあつてはその1部をご寄付願います。
- ハ. ご提出いただきました推薦書及び添付書類は、お返しいたしません。

連絡先

財団法人 山田科学振興財団 (Yamada Science Foundation)

〒544-8666 大阪市生野区巽西1-8-1

電話 06-6757-3311 (代表)

日本学術会議主催公開講演会

日本の計画

Japan Perspective

日時：平成14年1月7日（月）13:00～17:30

場所：日本学術会議 講堂

定員：先着300名（開場12:00）

次第

| | | |
|------|---------------|------------|
| 開会挨拶 | 日本学術会議会長 | 吉川 弘之 |
| 講演 | 全米科学アカデミー会長 | ブルース・アルバーツ |
| 基調講演 | 日本学術会議副会長 | 黒川 清 |
| 講演 | 筑波大学社会科学系教授 | 酒井 泰弘 |
| | 三菱化学生命科学研究所所長 | 永井 克孝 |
| | 放送大学教授 | 中島 尚正 |

パネルディスカッション

<パネリスト>

黒川 清、岩槻 邦男、蓮見 音彦、森 英樹、河野 博忠、
熊澤 喜久雄、渥美 和彦、坂元 昂、吉田 民人、酒井 泰弘、
永井 克孝、中島 尚正、祖田 修

閉会挨拶 日本学術会議副会長 吉田 民人

申込方法

ハガキ、FAX又はE-mailで「公開講演会参加希望」と明記し、氏名・年齢・職業・電話番号を記入の上、下記の申込先へお申込ください。

申込締切

平成13年12月20日（木）

ただし、定員に達し次第、締切りとさせていただきます。なお当日まで定員に達していない場合、当日入場もかまいませんので、事務局へお問い合わせ下さい。

申込先

日本学術会議事務局総務部庶務課気付
〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34
TEL：03-3403-1906 FAX：03-3403-6224
E-mail：info@sci.go.jp
URL：<http://www.sci.go.jp/>

入場無料

第16回 大学と科学 公開シンポジウム

ゲノム情報を超えた生命のふしぎ：糖鎖

平成14年1月26日(土)～27日(日)

有楽町朝日ホール(東京都)

千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

第一日 平成14年1月26日(土) 10:00～17:00

A.挨拶 10:00～10:10

大阪大学 谷口 直之

B.序論 10:10～10:45

司会 三菱化学生命科学研究所 永井 克孝

遺伝子の設計図にはない糖鎖のはたらき

大阪大学 谷口 直之

C.細胞の顔と糖鎖 10:45～14:40

司会 東京都老人総合研究所 木幡 陽

進化する糖鎖

理化学研究所 鈴木 明身

細胞の運命をきめる糖鎖

名古屋大学 古川 鋼一

司会 名古屋大学 村松 喬

血液型と糖鎖

産業技術総合研究所 成松 久

脳をかたちづくる糖鎖

京都大学 川寄 敏祐

D.細胞をみわける糖鎖 15:00～17:00

司会 明治薬科大学 齊藤 政樹

細胞の出会いとわかれを演出する糖鎖

愛知県がんセンター 神奈木玲児

細胞の情報をとりしきる糖鎖

東京医科歯科大学 柳下 正樹

細胞の外をみる糖鎖

東京都老人総合研究所 遠藤 玉夫

第二日 平成14年1月27日(日)

10:00~16:50

E.細胞とふれあう糖鎖

10:00~11:20

司会 京都大学 川寄 敏祐

炎症や癌転移における甘いわな—糖鎖

大阪大学 宮坂 昌之

糖鎖による生き物のふれあい

東京大学 入村 達郎

F.生命の誕生と糖鎖

11:20~12:40

司会 理化学研究所 小川 智也

糖鎖がとりもつ卵と精子

慶應義塾大学 星 元紀

糖鎖と排卵の不思議

愛知医科大学 木全 弘治

G.病気と糖鎖

13:50~16:50

司会 大阪大学 谷口 直之

糖鎖がなくなる病気、増える病気

佐々木研究所 山下 克子

インフルエンザの流行と糖鎖

静岡県立大学 鈴木 康夫

司会 藤田保健衛生大学 永津 俊治

酵母でつくる糖鎖のくすり

産業技術総合研究所 地神 芳文

からだを守る糖鎖

名古屋大学 村松 喬

申込方法

参加費 無料

参加申し込み ハガキに1. 参加希望のセッション名、2. 参加日時、3. 〒住所・電話番号、4. 氏名、5. 職業(勤務先)を明記の上、下記連絡先宛てに申込願います。

5. 「魚類の性決定及び性分化機構」

新潟大・酒泉 満

(司会；新潟大・濱口 哲)

国立基生研・長濱嘉孝

(司会；新潟大・濱口 哲)

予約、参加費は不要です。尚、上記8講演の順序が変わる可能性があります。詳細は下記へお問い合わせ下さい。

[問合先] 169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学教育学部生物学教室

中村正久 TEL 03-5286-1518 FAX 03-3207-9694

e-mail: nakamra@mn.waseda.ac.jp

ノーベル賞設立100周年記念国際フォーラム/ 医学生理学サテライトシンポジウムのお知らせ

ノーベル賞受賞者と熱い議論を戦わせたい大学生・院生・ポスドクの方大募集！

来る2002年3月16～20日に、日本学術会議主催のノーベル賞設立100周年を記念した国際フォーラムが東京及び京都にて開催されます。そのサテライトプログラムの一環として、医学生理学賞受賞者である利根川進博士をお招きし、将来一流の研究者を志す若い大学生・大学院生・ポスドクの方々と、脳科学の現状ならびに将来展望について、専門的な見地から大いに議論をしていただく機会を設けたいと考えております。

つきましては参加者を公募したいと思いますので、下記の募集要項を参照の上、興味のある方は是非積極的に御応募下さい。

1. 日時：2001.3.18 (月)
2. 場所：学術会議内会議室 (〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34)
3. 応募締め切り：2002.1.21 (月)
4. 募集人数：20人程度
5. 応募資格：将来アカデミックな分野で活躍することを目指す大学生・大学院生・ポ

スドク（国籍、性別、年齢不問）。脳科学について強い興味を持つ方を希望します（ただし現在の研究分野は問いません）。

6. 応募方法：参加を希望する動機、現在の研究内容、将来希望する研究内容、当日議論したい内容等を1200字程度にまとめ、履歴書を添えて下記宛郵送してください。応募者多数の場合は、運営委員会で選考の上、本人宛通知させていただきますので、あらかじめ御了承下さい。なお、旅費などの支給はありません。

応募についての問い合わせ先：

(1) 大隅典子

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学大学院医学系研究科器官構築学分野

TEL：022-717-8201、FAX：022-717-8205

E-mail：osumi@mail.cc.tohoku.ac.jp

または

(2) 古久保哲朗

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29

横浜市立大学大学院総合理学研究科創製科学研究室

TEL：045-508-7237、FAX：045-508-7369

E-mail：kokubo@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp

会 員 異 動

<新入会員>

| (氏名) | (所属) | (住所) | (①テーマ、②材料) |
|--------|------------------------|--------------------------|---------------------------------------|
| 吉田 松生 | 京都大学大学院医学研究科病理系腫瘍生物学講座 | 〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 | ①生殖細胞 ②マウス |
| 吉留 賢 | 鳥取大学医学部生命科学学科病態生化学講座 | 〒683-8503 米子市西町86 | ①卵成熟過程におけるcyclin B2の機能解析 ②X.lqevis |
| 吉川 正英 | 奈良県立医科大学寄生虫学教室 | 〒634-8521 橿原市四条町840 | ①ES細胞と肝再生 |
| 大城戸真喜子 | 東京慈恵会医科大学生化学講座第二 | 〒105-8461 港区西新橋3-25-8 | ①アンチザイムノックアウトマウスの解析 ②マウス |
| 矢尾板芳郎 | 広島大学大学院理学研究科 | 〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1 | ①両生類の変態現象 ②アフリカツメガエル |

<会員資格変更>

国内→海外

| | |
|-------|---|
| 重谷 安代 | Division of Developmental Neurobiology, Nat'l Inst. for Med. Res. TheRidgeway, Mill Hill, London NW7 1AA, U.K. |
| 矢嶋 浩 | c/o Dr.Kamal Sharma, Dept. of Neurobiology, Pharmacology and Physiology, Knapp Res.Ctr. Univ. of Chicago, R222, 924, E.57th St., Chicago, IL 60637, U.S.A. |
| 服藤 尚恵 | c/o Dr. Michael Levine, Dept. of Molecular and Cell Biology 401 Berker Hall #3204, UC Berkeley, Berkeley, CA 94720-3204, U.S.A. |
| 中藤 博志 | Dept. of Molecular & Cellular Biology, Arizona Cancer Ctr., Univ. of Arizona Salmon Bldg. #977, 1515 N.Campbell Ave., Tucson, AZ 85724, U.S.A. |
| 石田 浩一 | Lehrstuh 1, Biochemie I, Universitat Regensburg 93040 Regensburg, Germany |
| 百瀬 剛 | Inst. of Zoology, Bioctr., Univ.of Base c/o Prof.Volker Schmid, Klingelbergstr.50, CH 4056 Basel, Switzerland |

学生→正会員

| | |
|-------|---|
| 重谷 安代 | Division of Developmental Neurobiology, Nat'l Inst. for Med. Res. TheRidgeway, Mill Hill, London NW7 1AA, U.K. |
| 矢嶋 浩 | c/o Dr.Kamal Sharma, Dept. of Neurobiology, Pharmacology and Physiology, Knapp Res.Ctr. Univ. of Chicago, R222, 924, E.57th St., Chicago, IL 60637, U.S.A. |
| 加藤 史子 | 大阪大学大学院医学系研究科 B 8 遺伝子学 〒565-0871 吹田市山田丘2-2 |

石田 浩一 Lehrstuh 1, Biochemie I, Universitat Regensburg 93040 Regensburg, Germany
百瀬 剛 Inst. of Zoology, Bioctr., Univ. of Base
c/o Prof. Volker Schmid, Klingelbergstr.50, CH 4056 Basel, Switzerland

<住所変更>

仲村 春和 東北大学大学院生命科学研究科脳構築学分野 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1
広部 知久 放射線医学総合研究所放射線障害研究グループ 〒263-8555 千葉市稲毛区穴川4-9-1
福井由宇子 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所発生生物学研究室 〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38
相賀裕美子 国立遺伝学研究所系統生物研究センター発生工学研究室 〒411-8540 三島市谷田1111
榊原 伸一 獨協医科大学解剖 〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880
中村 由紀 慶應義塾大学医学部生理学教室
〒321-0218 栃木県下都賀郡壬生町落合2-12-2 小貫マンション201
日比 正彦 理化学研究所発生・再生科学総合研究センター体軸形成研究チーム
〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-2-3
中尾 啓子 慶應義塾大学医学部生理学教室 〒160-8582 新宿区信濃町35 総合医科学研究棟5F、5S-1
西崎有利子 京都大学再生医科学研究所生体分子設計学分野 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
霜鳥 太信 広島大学大学院理学研究科数理分子生命理学専攻分子遺伝学研究室
〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1
石塚 泰啓 海城中学・高等学校 〒169-0072 新宿区大久保3-6-1
石川 泰三 (株)生命誌研究館事務部門 〒569-1125 高槻市紫町1-1
安富 真澄 愛知学院大学生物学教室 〒470-0195 日進市岩崎町阿良池12
赤坂 武 千葉大学大学院医学研究科独立専攻高次機能系発生医学講座発生生物学
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1
水野 寿朗 大阪市立大学理学部生物学科発生学研究室 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
鎌田 智幸 理化学研究所脳科学総合研究センター発生遺伝子制御チーム
〒351-0198 和光市広沢2-1
村上柳太郎 山口大学理学部自然情報科学科 〒753-8512 山口市大字吉田1677-1
北島 健 名古屋大学生物分子応答研究センター 〒464-8601 名古屋市中種区不老町
國貞 隆弘 岐阜大学医学部衛生学教室 〒500-8705 岐阜市司町40
横田 義史 福井医科大学生化学第一教室 〒910-1193 福井県吉田郡松岡町下合月23
前川真見子 千葉大学大学院医学研究院形態形成学 〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1
加藤 史子 大阪大学大学院医学系研究科B8遺伝子学 〒565-0871 吹田市山田丘2-2
杉村 芳樹 三重大学医学部泌尿器科 〒514-8507 津市江戸橋2-174

加藤健太郎 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所細胞増殖研究部門

〒444-8585 岡崎市明大寺町字西郷中38

島 康之 京都大学ウイルス研究所分子遺伝学分野

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53

<退会>

瀧原 義宏 依田 成玄 中澤 透 宍戸 恵美子 吉田 章子

石島 淳子 三谷 恭雄 小林 亜子

〔賛助会員〕

生命誌研究館

〒569 高槻市紫町1-1
-1125 TEL 0726-81-9750

先端テクノロジーをサポートする日京テクノス(株)

〒113 文京区本郷2-17-8鈴木ビル
-0033 TEL 03-3814-2066

三菱化学生命科学研究所

〒194 町田市南大谷11号
-8511 TEL 0427-24-6226

(有)共進理工“細胞分別”ナイロンメッシュ

〒113 文京区本郷5-13-1ドエル本郷205
-0033 TEL 03-3813-1073

賛助会員へのご入会のお願い

日本発生生物学会
会長 竹市 雅俊

近年、ライフサイエンス、バイオテクノロジー等の言葉が広く語られ、生物学に大きな関心と注目が払われるようになってまいりました。

日本発生生物学会は、発生生物学の進歩と普及をはかるため設立された学会で、日本を主に、外国の発生学者を混じえて約1,400名を結集しております。発生学は、言うまでもなく医学・農学等の諸分野とも深い関連を有しており、最近とみに進展の著しい遺伝情報発現をめぐる諸問題、癌細胞の基礎的研究、老化の問題等も発生生物学の大きな関心の的になっております。日本発生生物学会は、これらの分野での活発な研究者を会員としております。又、本学会の刊行致しております欧文誌“Development, Growth and Differentiation”(DGD)もこの方面の国際的学術雑誌として高く評価されております。

貴社におかれましては、このような学問の重要性をすでに御承知のことと存じます。何卒、本学会趣旨に御賛同の上、賛助会員として本会を御支援賜りますよう御願ひ申し上げます。

なお、賛助会員には本会の刊行する欧・和文刊行物(会員名簿を含む)が配布されます。会費は、一口三万円を申し受けております。御入会の際は、入会申込書を事務局までお送り下さい。

連絡先：日本発生生物学会事務局(仲村春和)

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1 東北大学加齢医学研究所分子神経研究分野

TEL:022-717-8553 FAX:022-717-8554

メールアドレス：jsdb@bcasj.or.jp

-----切-----り-----取-----り-----線-----

日本発生生物学会賛助会員入会申込書

年 月 日

賛助会員として入会の申し込みを致します。

(_____ 口 _____ 円)

住 所

会 社 名

担当者名
電話番号

Ⓜ

XENOPUS
Oocyte

ホームページ開設

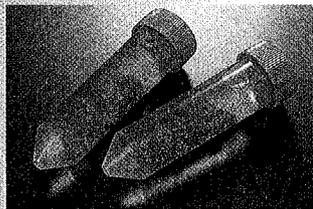
XENOPUS

- 恵まれた自然環境の下で育った良質のアフリカツメガエル。

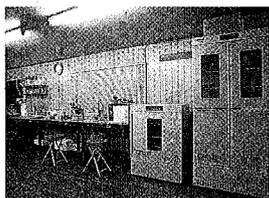


Oocyte

- 飼育管理に時間をとれない方や、実験を効率よく進めたい方にはOocyteを直送致します。



<http://www.copacetic.co.jp>



COPACETIC

株式会社コパセティック

〒036-1511 青森県中津軽郡相馬村大字坂市沢113-3
TEL 0172(84)3509 FAX (84)3510

フリーダイヤル：0120-084896

フリーダイヤル ゼノバスはクローン

カール ツァイス パーソナルコンフォーカルシステム

LSM 5 PASCAL

Personal Laser Scanning confocal



New!

新設計の小型軽量化スキャン
モジュール

New!

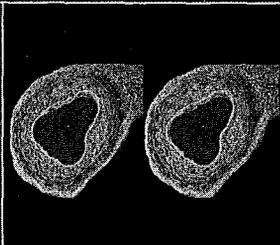
新開発レーザーコントロール・
モジュール

New!

ユーザが簡単に交換可能な
ビームスプリッター、
蛍光フィルター類



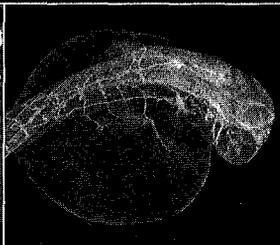
C. elegans with embryos, autofluorescence + DIC, (single frame out of time series), (Sample courtesy of Dr. Afag, MBL Woods Hole)



Fetal small intestine, double fluorescence, stereo projection (Dr. Hashimoto, Jikei University, Tokyo)



Drosophila brain, neural circuit indicated with GFP (Dr. Ito, NI of Basic Biology Lab, Okazaki)



Zebrafish embryo, neurons (green), NCAM (red) (Dr. Marx, Dr. Bastmeyer, Uni Konstanz)

- システムはフルオートでコントロール及び設定可能
- 2048 x 2048/12bit/各チャンネルの高画質
- DSP技術を用いた多彩なスキャンモード
- マルチトラッキングスキャンにより、多重蛍光標本の蛍光波長のかぶりを解消
- 多彩な2D、3D解析機能と、画像管理に便利なイメージデータベース
- タイムコースソフトウェアによる多彩な時間解析機能、外部トリガ機能

このほかにも数多くの新開発・新設計・すぐれた技術が搭載されております。

輸入/販売元
カール ツァイス 株式会社
顕微鏡部

〒160-0003 東京都新宿区本塩町 22 番地
Tel: 03-3355-0332 Fax: 03-3358-7554
URL: <http://www.zeiss.co.jp>
営業所: 大阪/名古屋/福岡/仙台

